

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	荏原製作所藤沢事業所開発棟	階数	地下1階 地上4階
建設地	神奈川県藤沢市本藤沢4丁目195-2	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	620 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年4月23日
敷地面積	12,065 m ²	作成者	竹中工務店
建築面積	4,355 m ²	確認日	2024年5月15日
延床面積	16,216 m ²	確認者	竹中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み 77%

③ 上記+②以外の 76%

④ 上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 藤沢市に計画された、精密機械機器の開発の為の工場である。 断熱パネルや節水器具等の採用により環境負荷低減に配慮した計画としている。		その他 0
Q1 室内環境 ・ オフィスは夏期26℃/50%、冬期22℃/40%にて空調制御を行い作業・執務者に快適な室内環境を形成。 ・ 室内照度はオフィスにて750lxを確保。	Q2 サービス性能 ・ 耐用年数の長い外装を採用、建物の耐用性向上に配慮。 ・ オフィスのOA容量は50VA/m ² 。 ・ ガス、電気インフラによる空調熱源の設置。 ・ レベル3以上の設備関連材料の選定。	Q3 室外環境(敷地内) ・ 計画地北側の既存樹木・緑地の保存により、生物環境の保全と創出に配慮している。 ・ ガス熱源の煙突は屋上階にて排出し敷地内温熱環境へ配慮している。
LR1 エネルギー ・ BPI/0.92、BEI/0.62 ・ 太陽光発電設備を12.37kW設置し建物電源に系統連系 ・ 中央監視システムによるシステムごとの評価・モニタリングが実施可能	LR2 資源・マテリアル ・ ガス消火には不活性ガス消火を採用	LR3 敷地外環境 ・ 計画地北側の既存樹木・緑地の保存により、近隣からの視線・景観の保全に配慮している。 ・ 藤沢市都市景観アドバイザー会議に基づき、敷地内の既存建物と調和した外装・色彩計画としている。 ・ 騒音規制法、県条例を満たした騒音対策を実施

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される